



# 2010/11 WEEKLY BULLETIN

国際ロータリー第 2790 地区第 3 分地区 B

## 市原ロータリークラブ会報



第 2277 回例会 2010 年 9 月 8 日(水) SAA/会員 会報担当/岡本会員

例会場: 五井グランドホテル 市原市五井 5584-1

事務局 0438-38-3535

### ★点鐘 市原 RC 会長 西村美和子 ★ソング 我等の生業

#### ★お客様

市原中央高校 インターアクトクラブ顧問 木島先生、同クラブ会長 渡邊 佳織様、  
副会長 原地 将太郎様、副会長 江藤 愛様、岡田亜由美様、藤本 広様、  
国際ロータリークラブの長期留学生 サラ・フェラーロ様

#### ★ 会長挨拶 市原 RC 会長 西村美和子



皆様こんにちは。長く暑い夏もそろそろ終わろうとしています。例年がない猛暑ということで体調を崩された方も多かった様です。少しづつ秋めいて参りますので元気を出して一人でも多くの方に例会に御出席いただき楽しく充実したクラブ運営をして参りたいと思います。

先週はお陰様で出席率 90%を超えました。皆様がお互いにクラブと会員に興味を持っていただければ毎回例会に出席される楽しみになるでしょう。

本日は若いお客様を大勢お招きしています。

国際ロータリークラブの長期留学生、アメリカカルフォルニア州のビッグベアーレイクよりより 8 月から一年間市原中央高校に在学いたします、サラ・フェラーロさんです。

もう一組は、先月 8 月 17 日より 10 日間当クラブの交換留学生プログラムでマレーシア ペタリングジャヤに行きました市原中央高校の 5 名の生徒さんです。

それぞれ皆様がどんな期待を持って、またアジアの国をどの様に感じ、文化や伝統を吸収してきたのかお話を伺いたいと思います。

国力を高揚させたり、あるいは国際社会の中での日本の進むべき道を模索したりするためには本日お迎えしている様な若い世代の力が最も重要ですので、是非今回の様なプログラムで得た経験を基に活躍されることをお祈りします。

#### ★ 幹事報告 幹事 伊藤英樹



- 1.先日ご協力いただきました国体バッジのお礼状が届きました。
- 2.次週 9/15 例会は食事の時間が早まり 12:00 からです。
- 3.9/24 例会は、ロータリー情報研究会への移動例会です。

## ★卓話（市原中央高校インターアクトクラブ）



市原中央高校インターアクトクラブ会長 3年 渡邊 佳織様

こんにちは。私は8月17日～26日までマレーシア国際交流事業に参加させて頂きました。z

今回私が参加させて頂くにあたって3つの目標を立てていき、その目標を元に10日間を充実して過ごす事ができました。

3つの目標の中でも毎日の生活の中で周りの人々と取るコミュニケーションを通して学んだことがたくさんあります。

初日はしっかり話せるのか、話が通じるのか自分の英語力に不安を感じていましたがいざ皆さんとお話してみると日本とは違って頼る人がいない分、自分の英語に頼るしかなかったのですが自分の口から次々と言葉がでてきたので会話に対しての不安が減りました。そして現地の高校へ行った時も、インターアクターと交流した時も、ローターアクターと交流した時も英語を通じて仲良くなることができ、たくさんの友達ことができました。

次に私が知りたかったマレーシアの食文化について話します。

マレーシアにはたくさんの宗教、文化があるため日本よりも食に対する思いが強く、食事というものをとても大切にしていました。ベジタリアンの人や、イスラム教のために昼食を一緒にとることができない人など宗教上の理由から様々な食文化がありました。日本ではほぼ皆が同じ宗教のために食について深く考えることが無かったので今回のことで私も考え方が少しかわりました。私たちは毎日当たり前で3食かかさず食べる事ができますが未だに貧富の差が激しいマレーシアでは3食かかさずに食べることができないひとにも食事に対する感謝の気持ちを忘れずに強く持っていました。なので私も今の環境に改めて感謝しなければいけないと思いました。

最後になりましたが、今回私たちの為にこのような素晴らしい機会を与えていただきありがとうございました。多くの方々がたくさんの時間と労力をかけて立ててくださった計画やサポートして下さったおかげでこの10日間は私の今までの人生の中で一番と言っても良いくらい素晴らしい思い出になりました。言葉では表せないくらい毎日が充実していて、わくわくして、たくさんいろんなものを吸収して、多くの人々や物に触れられて本当に楽しかったし勉強になりました。10日間を思い出だけでとどめておくのではなくこの貴重な経験を今後のインターアクトクラブの活動や私のこれからの生活で生かしていきたいと思います。そしてマレーシアで私たちをサポートして下さったロータリアンをはじめとするたくさんの方々、たくさんの友達とこれからも連絡をとりつづけていきたいと思います。

どうもありがとうございました。



副会長 2年 原地 将太郎 様

こんにちは。市原中央高校2年生の原地将太郎です。今回、僕はマレーシアで最高の経験をする事ができました。今回このような素晴らしい機会を与えて下さった市原ロータリーの皆さんに心から感謝を申し上げたいと思います。本当にありがとうございます。

僕はマレーシアでたくさんの所に行き、たくさんのことをし、たくさんものを食べました。そして何より、たくさんの友達ことができました。

海外に同世代の友達をたくさん持つというのは、自分にとって本当に素晴らしいことだなと感じました。

今後も彼らと関係が続けていきたいと思っています。

出発前、僕はここで行われた例会で、昨年末ここ市原に来ていたマレーシアの派遣学生であったリークォンのお話をしましたが覚えていらっしゃるでしょうか。今回、再会することができたらいいなと思い、マレーシアに行きましたがなんと自分のホームステイ先がそのリークォンの家でした。こんなにできすぎた話があっただろうかと思うほどびっくりしましたが、マレーシアでの約10日間を家族として共に過ごすことができ本当に嬉しかったです。ホストファミリーにはすごく感謝しています。僕のホストファミリーはとても大きなパン屋の経営者であり、自分達もそこでクッキー作りを体験することができました。ホストマザーは元気いっぱいな人で、自分達にたくさんご飯を出してくれました。朝にケーキを出されたときは本当にびっくりしました。何より家の大きさには度肝を抜かれました。正直、自分の家と交換したいです。

マレーシアでの食事は最初はすごく不安でしたが、思いの外、おいしく食べることができました。ですが時々、危険なものもでてきました。特にドリアンはとても強烈でしたが、やはり味も非常に強烈でした。次回マレーシアに行った時は遠慮しようと思います。

ペタリングジャヤのロータリークラブの皆さんは、とても親切で自分達にたくさん声をかけてくださいました。自分達は彼らのおかげでマレーシアでの10日間を快適に、楽しく過ごすことができました。とても感謝をしています。僕は今回マレーシアで、人の温かさに触れることができました。マレーシアの人々はとても優しく、いつも自分達のことを気にかけてくれていました。そしていつも自分達が楽しめるように積極的に声をかけてくれました。僕も彼らのように心豊かで、優しい人になりたいと思いました。

このようにマレーシアでは素晴らしい経験をたくさんしました。正直言って、日本に帰りたくないと何回も何回も思いました。それほどマレーシアで過ごした約10日間はこの夏の最高の思い出です。

今度マレーシアからここ市原に派遣学生が来たら、今ここにいる自分達が温かく迎え入れ、日本でのステイを楽しんでもらえるように積極的に声をかけてあげたいと思います。

市原ロータリーのみなさん、本当にありがとうございました。またいつか、マレーシアに行く日を楽しみにしています。



副会長 2年 江藤 愛 様

無事にマレーシアから帰国しました。マレーシアでは信じられないくらい時間がたつのが倍以上早く感じました。マレーシアの第一印象はとても近代的で素敵な国だと思いました。

私のホストファミリーのハルジット夫妻、娘のシャーリンはとてもやさしく私を迎え入れてくれました。毎日の生活の中で、話し相手が非常に身近にいてすごく英語の勉強になりました。

マレーシアはそれぞれの民族がそれぞれの社会を持つ「複合民族国家」だと肌で感じました。ロータリークラブを通じて同じ年の友達がたくさんできたことが私にとって、とっても嬉しかったです。色々な文化を持つ友人達との会話は非常に興味深く、趣味や好きな音楽の話になると盛り上がり、文化や国を超えてどこも同じだなとも感じました。日本の文化について学生達の意見交換を聞いたりして日本をどう見ているか勉強できたのは良かったです。それから、自分が日本の事を聞かれたときに的確に答えるのが難しく自分も日本のことをあまり知らない部分が多いと再確認し、改めて異国の地で日本について考える時間が持てました。ホストファミリーや知り合った人々、そして友達を通じて、グローバルな目で何事も捉えていくことの重要さと実際の体験や経験がいかに大切わかりました。この数日間で、マレーシアの生活は私にとってすべてが新鮮で楽しかった思い出で一杯です。そんな中でも、自分のことは自分でできるようになり、自分の意見をも強く言えるようになりました。

それに物事に対しての考え方がとても広がり、色々な方向から冷静に見ることができるようになったと思います。自分の英語に対しても以前より自信がつき、まだ挑戦したいことが次々と増えてきました。マレーシアは私にとって、とても居心地の良い場所になっていったと思います。それはまるで2つ目の故郷みたいな感じです。

マレーシアのホストファミリーは、自分とは異なった民族、宗教とまさに異国の地でしたが、初日からとても暖かく迎え入れてくださったことに感謝しています。不安を感じることもありましたが、いつも周りの人に支えられていたということに気づかされました。そして毎日ホストファミリー、インターアクター、ロータリークラブの方々と交流を深め話をしているうちに、日本人としての考え方だけではなく、彼らの考え方を少しずつ理解し、広い視野をもてたと思います。たくさんの人の考えを知ることができ、また多くの経験、体験を通して、自分だけの考えにとらわれずに他人の意見、すなわち今まで私にとって見えていなかった世界観をもてたと思っています。いつもマレーシアでの行事が終了すると必ず私は、もっとみんなで活動していたいとか、もっと同じ時間を共有したいという思いであふれていました。経験したたくさんの物事には、好奇心で満ち溢れていたことを今でも鮮明に覚えています。

私がこの滞在を通して自分なりに学んだことが3つあります。

1つは、「言葉が通じる喜び」です。これはたぶん日本に居たら一生気付くことはなかったと思います。

2つ目は、「異文化を知ることの楽しさ」です。多くの民族が集まってできた国で生活している彼らは、自分たちの国と文化をすごく大切にしていることにとても魅了されました。

最後に私が学んだことは、「絆と感謝の気持ち」です。私はたくさんの人とで会いました。彼らから学んだことは数え切れないほどです。自分にとって大切な人がいて、支えてくれる人がいて、刺激し合える仲間がいて、自分にとってどんなに幸せなことなのかと改めて気付くことができました。人と人とのつながりは本当に大切なことだと思い、忘れてはならないことだと感じています。

思い出がたくさんあり、涙がこぼれるほどお別れのときは本当に寂しかったけれど、涙の後には必ず笑顔になれるときが来る、また絶対に再会できると信じ、これからの自分の人生を大切に過ごして生きたいと思いました。

私のマレーシアでの滞在が無事成功し、すてきな思い出とともに終わることができたことに、伝えきれないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。私は目には見えないものをたくさん持ち帰りました。

そして、この出会いの数々を一生忘れることなく、自分の将来に生かしていけたらいいなと思っています。

本当にありがとうございました。



### 3年 岡田 亜由美 様

市原中央高校3年の岡田亜由美です。

私は出発する前に“5人だけでしっかりやっていけるのか”がとても不安でした。ですが、空港に到着するとロータリアンの方々が笑顔で迎えてくれたので一気に不安がなくなりました。

ホストファミリーもいろいろとお世話をしてくださり、本当の家族のように迎え入れてくれたのでとても安心して生活することができました。そして、私はマレーシアで多くの体験をさせていただきました。ロータリアンとマレーシアの伝統的なペイントをしたり、ツインタワーに登ったりしました。ロータリアンはいつも行く場所の説明をしてくれたので、観光しながら学ぶことができよかったです。ローターアクターとはプールへ行ったり、大きなアスレチックのある公園へ一緒に行ったりして交流を深めることができました。食事を一緒にすることも多かったのでたくさん

コミュニケーションを取ることができました。インターアクターともボーリングをしたり、お昼ご飯を一緒に食べたりしてコミュニケーションを取ることができました。インターアクトクラブのある高校へ訪問もできて、校内案内をしてもらいながら話をしたり、授業を見学させてもらったりしました。多くの人とたくさんコミュニケーションを取ることもでき、貴重な体験もできて嬉しかったです。

食事では、少し困ることもありました。なぜなら、マレーシア料理のほとんどが辛かったからです。私はあまり辛い料理が得意ではなかったため、食べられる料理も限られてしまいました。ですが、“マレーシアの食文化を体験し学びたい”と思っていたので、一回はチャレンジしました。日本料理にはないような辛さで、一口で十分なほどでしたがそれ以上に苦労したのがドリアンでした。私はドリアンを食べるのは初めてでしたがにおいがきついということは知っていました。においを嗅いだとき想像していたよりもきつくないなと思いましたが、食べてみるとあまり好きな味ではないし、においが口に残って少し辛かったです。マレーシアではスーパーにも普通に売っていて、家でも食べることに驚きました。私はドリアンを家で食べることを知らなかったし、マンゴーなどの日本でも売っているようなフルーツと変わらないんだなと思いました。口に合わないこともありましたが、マレーシアの食文化を体験することができてよかったです。ホストファミリーとはいろいろな話をしました。教育制度についてや漢字についてなど話しました。昔はマレー語が重要だったけど、今は英語を使うほうが多いことや、漢字の中国での読みと日本での読みが違うこと、漢字の形が違うことを話しました。ホストファミリーと話を少し漢字に興味を持つことができました。

私は、この10日間を想っていたよりも楽しく、充実させることができました。今回の経験からもっと英語を勉強しなきゃいけないということを強く感じました。聞き取ることはできても、自分の言いたいことがしっかりと伝わっていないような気がしました。もし、またマレーシアを訪れることがあったら、お世話になったホストファミリーやローターアクターとたくさんのことをしっかりと話せるように勉強しようと思います。最後になりましたが、派遣留学生としてマレーシアに行く機会を作ってください、計画や手配などの様々な準備をしていただき本当にありがとうございました。



市原中央高校 2年 藤本 広 様

私は8月17日から26日までマレーシアへ行って来ました。そこでは色々貴重な体験をさせてもらいました。まずは食文化です。マレーシアでは色々な食べ物を食べました。辛いものが特に印象的でした。なぜか自分だけレストランに行くと辛いものをオーダーされました。おいしいですが、辛いものを食べ過ぎて耳の裏にできものができてしまいました。そして印象に残っている食べ物は、やはりドリアンです。においが臭かったです。味も自分の口には合いませんでしたが、いい思い出になりました。

次に宗教についてです。国教はイスラム教なのに各家庭必ずしもそうではないので驚きました。このことについて機会があれば調べてみたいと思います。

次に物価の違いです。マレーシアではシャツ一枚が日本円で500円から700円くらいで買ってしまうものもあるので大変驚きました。そしてすごく驚いたのがハウスキーパーさんの給料です。なんと一ヶ月18000円で働いているそうです。それほど物価が安いんだなと思いました。日本とは違う一面が見られたのでよかったですと思います。

最後に最高の仲間めぐり合えた事が僕にとって最高の宝物になりました。国は違っても言葉が通じなくとも心は通じあえるんだなと感じました。彼らは僕たちのためにいろいろなことをしてくれたり、いろんな所へ連れて行ってしてくれたりとしてくれました。非常に感謝しています。

来年は受け入れる側なので僕たちがしてもらった以上のことをしていきたいと思います。そして自分たちが思ったように「また来たいな」と思ってもらえるように頑張りたいと思います。

このような素晴らしい機会をあたえてくださったロータリーみなさまに感謝申し上げます。  
ありがとうございました。

### ★ニコニコ・Sorryボックス

#### ●小池会員

サラさんお誕生日おめでとう。楽しく毎日を過ごしてください。

#### ●菊地会員

サラいらっしゃい。日本の良いところをたくさん見ていってください。体には気をつけて。

#### ●西村会長、伊藤幹事

本日は長期留学生サラさん、そしてペタリングジャヤへ交換留学生プログラムで訪問した市原中央高校生5名の皆様、楽しい報告を伺えて良かったです。若い皆様の今後のご活躍を期待します。

### ★ 出席報告

前々回 84.4% 本日出席 36名 欠席 9名 本日出席率 80%